

令和6年度 都都緑委第16号 用宗緑地 Park-PFI 特定公園施設モデル 設計業務【地質調査業務】オートマチックラムサウンディング試験

1. 調査方法

オートマチックラムサウンディングは、質量 63.5kg のハンマーを 500mm の高さから落下させ、貫入量 200mm ごとの打撃回数を測定する。周面摩擦を補正するためのトルクの計測は、打撃回数が 5 回を超す場合は 200mm ごとに、5 回以下の場合はロッド接続時(1m ごと)に、ロッドを時計回りに 2 回転させて行われる。

周面摩擦の影響は、次式で補正される。

$$N_d = N_{dm} - N_{mantle}$$

$$= N_{dm} - 0.040 < 0.40 > \cdot M_v$$

N_d : 補正された打撃回数 N_{mantle} : 周面摩擦相当の打撃回数
 N_{dm} : 測定された打撃回数 M_v : 回転トルク (N・m) <kN・cm>

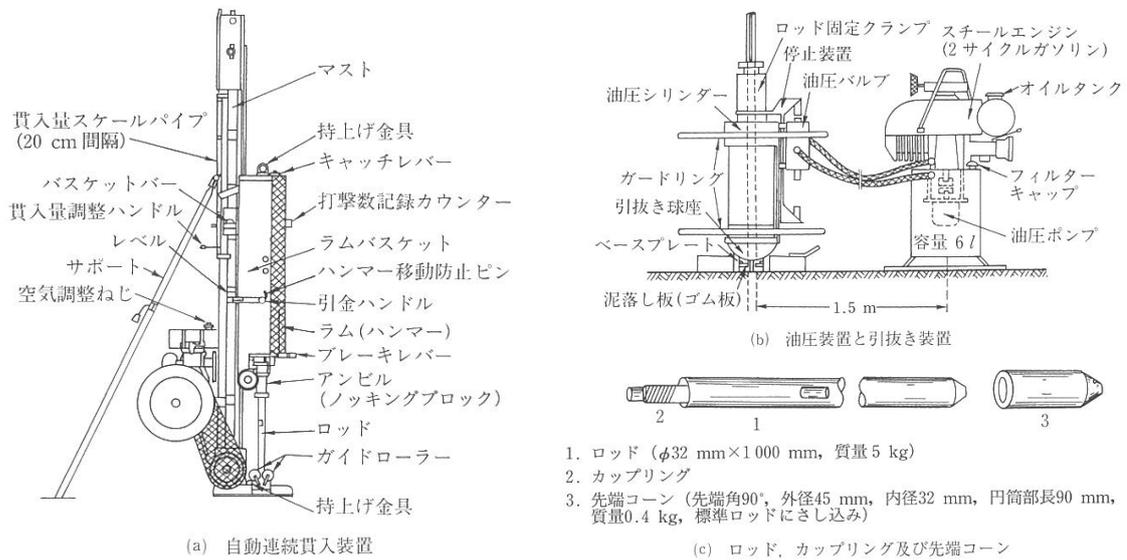


図-1 オートマチックラムサウンディング試験装置

また、オートマチックラムサウンディングの N_d 値と N 値の関係は、 $N_d=N$ がほぼ成り立っている。

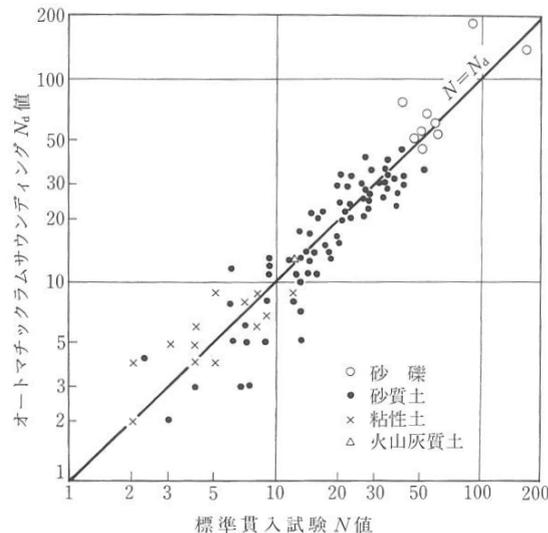


図-2 オートマチックラムサウンディング試験の N_d 値と N 値の関係

2. 試験結果

オートマチックラムサウンディング試験は、調査位置図に記した1箇所にて実施し、以下のとおり土層区分を推定した。(図-3 データシート参照)

- ・盛土層 GL-0.00m ~ 1.00m 換算 N 値 = 3 ~ 50 以上
- ・砂質土①層 GL-1.00m ~ 2.40m 換算 N 値 = 12 ~ 26
- ・砂質土②層 GL-2.40m ~ 4.00m 換算 N 値 = 29 ~ 43
- ・礫質土層 GL-4.00m ~ 5.00m 換算 N 値 = 50 以上

フルオートマチックラムサウンディング データシート

令和6年度 都都緑委第16号 用宗緑地Park-PFI特定公園

件名: 施設モデル設計業務【地質調査業務】

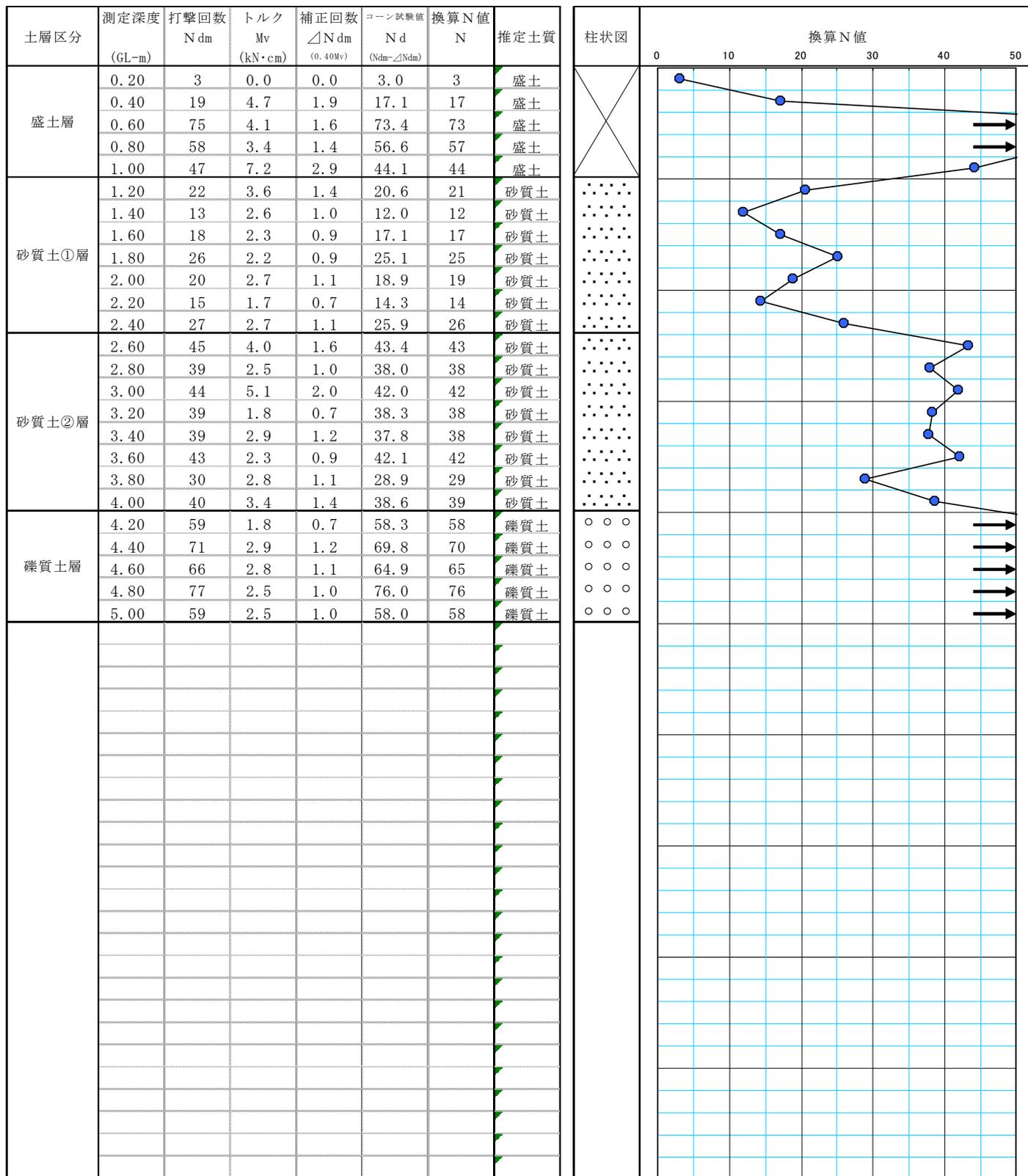
調査日: 2025年2月12日

住所: 静岡県静岡市駿河区用宗3丁目 地内

測定者: 馬場 貞秀

測点: RS-1

孔口標高: H=6.51m

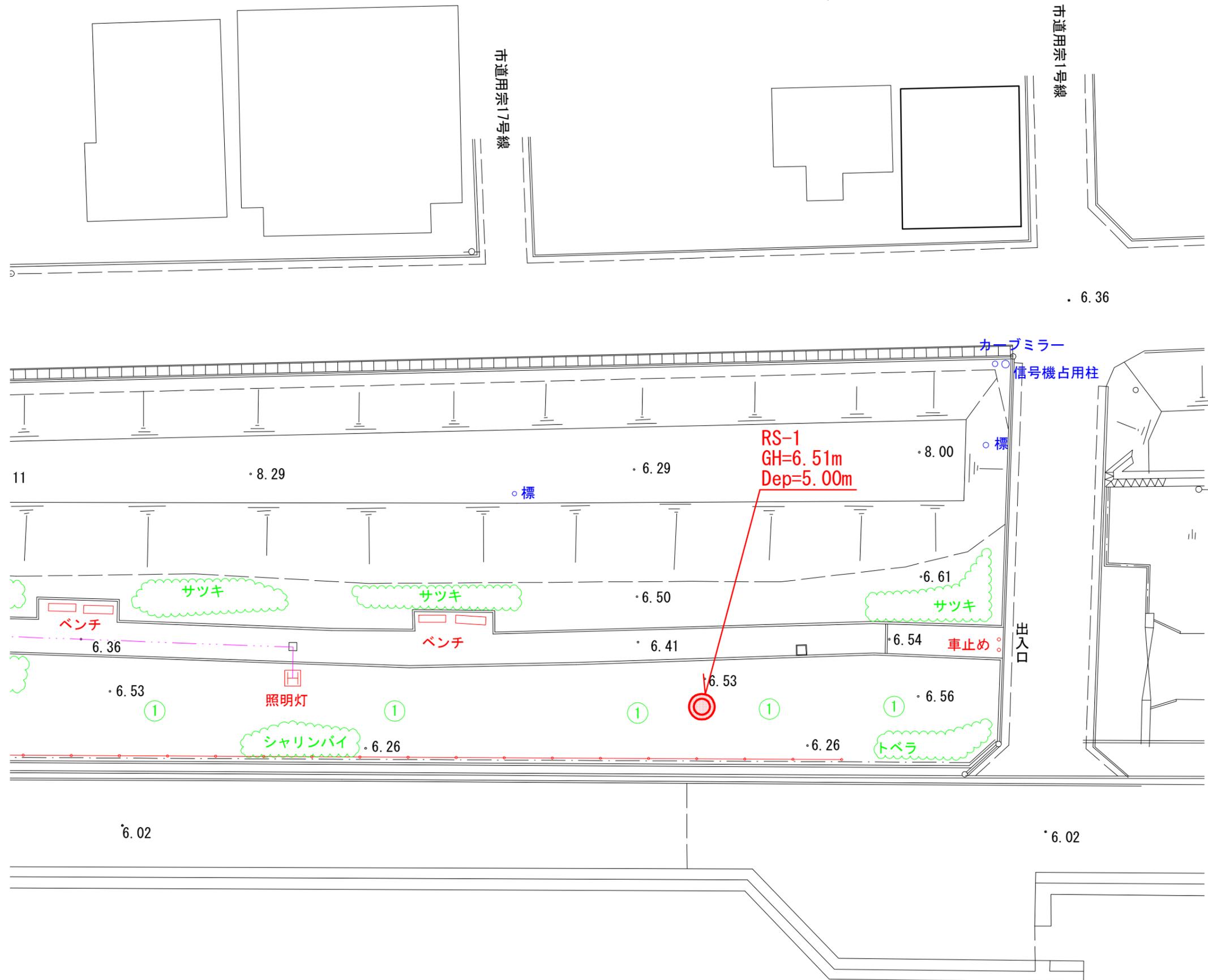


特記事項: 打撃回数5回以下についてトルク補正なし

図-3 オートマチックラムサウンディング データシート

調査位置図

S=1/250





着工前



全景



残尺



残尺



検尺



検尺



完了